

学生の修学支援について

学生部長 佐々木 万亀夫

石巻市は、この震災により基幹産業が壊滅的被害を受けただけでなく、交通アクセスにも多大なる被害を受けた。そのため、家計支持者の死亡・失職や通学手段の確保などの問題から、学生の修学の継続に対して多くの懸念があった。

学生部委員会

本学が位置する石巻市は、死者・行方不明者が約4,000人に上っただけでなく、基幹産業である水産業および多数の雇用者をかかえる日本製紙石巻工場をはじめ多くの会社・事業所・商店などが壊滅的ダメージを受けた。さらに、重要なアクセス鉄道であるJR仙石線も全線復旧に未だ目途が立たないほどの多大な被害を受けた。そのため、学生の保護者（家計支持者）の死亡・行方不明や失職、震災直後からの三陸自動車道など幹線道路の渋滞、学生が居住できる石巻市内のアパートなどの確保の困難さの状況から、修学を続けることができなくなる学生が多数出るのではないかと懸念があった。そこで、学生の修学のための支援を学生部委員会で検討し、大学として以下のような支援策を実施した。

(1) 奨学金(学費減免特別措置)

震災により家計支持者が居住する家屋が被害を受けた場合には「家屋被害に係る支援」として、平成23年度には上限が「授業料+施設費」相当の奨学金、平成24年度には理工学部45万円、経営学部30万円の奨学金を2年にわたり支給する。震災により家計支持者の死亡または失業などの場合には、理工学部45万円、経営学部30万円の奨学金を支給する。また、この2つの支援の併給は可能だが、所定の学費（校納金）を上限とする。以上のような奨学金制度を在在学生に対して作った。さらに、平成24年度の新入生に対しても同様

の奨学金制度を設けており、新入生に対しても2年にわたり支給する。現在（11月30日現在）、学部在学生在が617人、大学院在学生在が18人、平成24年度入学予定者が50人ほど奨学生として採用されることとなった。これらの奨学金の支給総額は、約4.1億円に上る。

さらに、日本学生支援機構奨学金の追加採用・臨時採用に加え、三菱商事緊急支援奨学金、東芝東日本大震災奨学金基金、毎日希望奨学生、東日本大震災・津波遺児への特別一時金（あしなが育英会）などの奨学金制度を活用するよう指導した。

(2) 居住支援(アパート情報などの提供)

被災当初、石巻市内に居住の在在学生および居住予定の入学生のために必要な物件は約200件と推定していた。アパート、下宿、ビジネスホテルなどの部屋を確保し学生のニーズに沿うように努力、準備した。しかし、学生が多く居住していたエリアにおいては被害からの復旧が予想以上に早く進み、学生が自ら不動産会社と賃貸契約するなどしたため、大崎市にあるビジネスホテルの予約をキャンセルした。嬉しい誤算であった。また、平成24年度に向けては、仮設住宅の建設が完了したことなどにより、必要な人数分のアパート、下宿が確保できる見込みである。

(3) 通学支援

本学では遠距離通学者の経済的・時間的負担を軽

減するため、震災前から以下のように通学バスに関する支援を行っていた。

- ①石巻駅前⇄大学(ミヤコー路線バス):回数券(12回券1,000円)が利用可
- ②仙台⇄大学(ミヤコー高速バス):片道500円で利用可
- ③北上、一ノ関、築館、古川⇄大学(専用バス):朝各1便、夕各2便、片道500円

震災に伴うJR仙石線、石巻線、気仙沼線の一部不通により、新たなバス路線を開設した。

- ①多賀城⇄大学(専用バス)朝1便、夕2便:片道500円
- ②鹿島駅⇄大学(試行運転中)

学生から要望の多い路線については前向きに検討する予定である。

(4) 心のケア

例年通りの「学生相談室」でのカウンセラーによる対応のほかに、震災後の学生の「心の悩み」に対応するため、専門家の助言のもとアンケート調査を行った。今後は、調査データを分析し、簡易な分析結果は本冊子に掲載(第2章「大学の被害状況 人的被害」P.34~を参照)し、詳細な分析結果については平成24年度の「石巻専修大学研究紀要」に報告する予定である。

(5) ボランティアサークル支援

修学とは直接関係はないが、サークル活動も大学教育を円滑に行う上で重要なものと考えられる。そこで、震災後に結成された3つのボランティアサークル、災害ボランティアサークル「ネクスト」、復興ボランティアサークル「STEP」、支援ボランティアサークル「ゆいまーる」の活動支援をした。具体的には、大学よりユニフォームなどを支給した。これに加え、団結式を通して、各サークルが活動内容を広く学生に紹介する機会を与え、新入部員募集などの持続的な活動の促進を行った。

(6) チャリティーイベントへの協力

これも修学とは直接関係はないが、被災という困難を乗り越えて修学を続けるためにはゆとりが必要である。このような視点から、学生のみならず地域住民を勇気づけるため、震災復興支援チャリティーイベント「TBC夏まつり2011」の開催に協力した。7月23、24日に仙台会場(勾当台公園&市民広場)と石巻会場(本学)の2ヶ所で行われ、石巻会場にはサンドウィッチマンなどのタレントが来て来場者を勇気づけてくれた。また、NHK公開ラジオ番組「キャンパス寄席」収録11月26日、放送12月23日などの他局のイベントにも、可能な限り協力している。

